

第 9 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和元年 7 月 31 日（水） 16：00 ～ 17：30
場 所	都庁第二本庁舎 31 階 特別会議室 22
出席者	委員）今井委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 4 名 事務局）佐藤局長、松丸管理部長、村本総務課長、鈴木公金管理課長、山村資金運用担当課長、赤岩課長代理、加藤課長代理、落合課長代理、有井主任、土本主任、野口主任 計 11 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応 2. 外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応 3. 債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 9 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、東京都公金管理アドバイザー会議設置要綱第 5 条で原則公開と定めている。ただし、委員の意見を聞いたうえで、非公開とすることができると規定しており、会議の開催前に、公開もしくは非公開について、委員全員の意見を聞くこととなっている。 委員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開にすべきとの意見を表明。 この結果、本日の会議は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題 1 「邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関（邦銀）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものである。 委員 評価にあたっては、決算の数字だけではなく今後の見通しや経営戦略等も判断要素として加味するよう、今後検討してみてもどうか。 事務局 適正な評価が出来るよう、適宜対応を検討していく。 委員 評価の際、最終的な判断となった根拠をより蓄積していくと良いのではないかと。 事務局 適正な評価が継続して可能となるように今後も取組を進めていく。</p> <p>(4) 議題 2 「外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関（外国銀行）の経営状況について、決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外国銀行）の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関（外国銀行）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものである。</p>

委員 預金先金融機関（外銀）の預金制限については、個別行の資金動向をより踏まえた運用とすべき。

事務局 運用方法について検討する。

(5) 議題3 「債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応」

事務局 債券発行体の経営状況について、決算状況を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものである。

以上